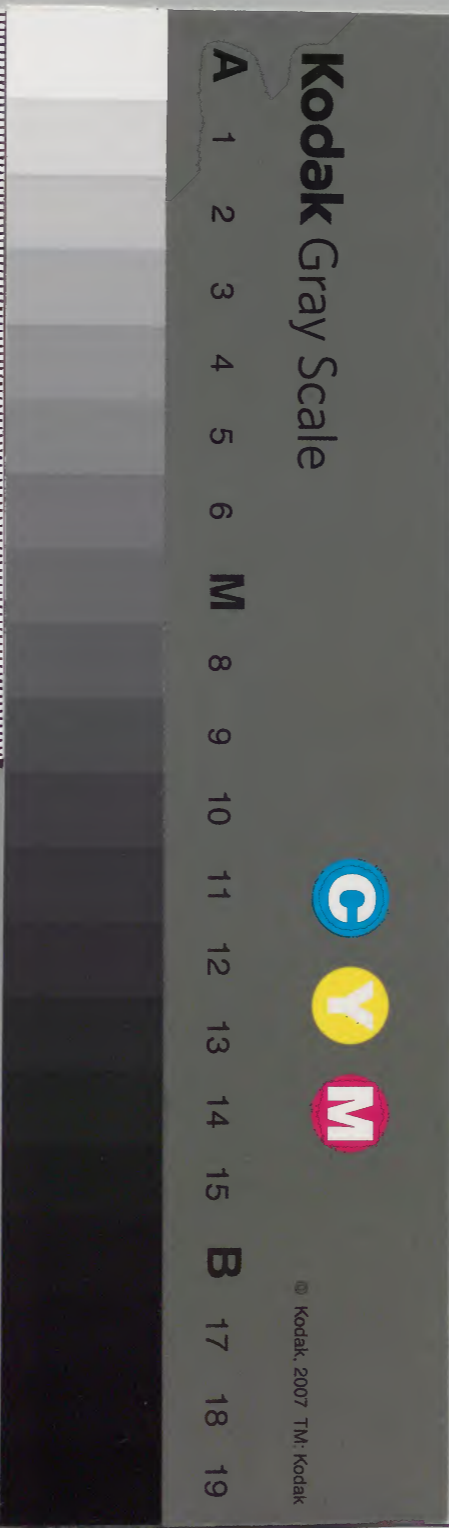


唐土訓蒙圖彙 卷之十四
魚介蟲

和書門	
二七九〇號	類
八七函	架
一一冊	冊

內閣文庫	
二七九〇號	和書類
一一冊	架
二四函	冊

內閣文庫	
番號	和 27990
冊數	11 (11)
函號	184 358



新

唐土訓蒙圖彙卷之十四

名下
和名

魚介蟲

魚介の類は、海に生ずるものなり。其の類多し。其の類、魚、介、蟲、の三あり。魚、海に生ずるものなり。介、海に生ずるものなり。蟲、海に生ずるものなり。

辰

その般地、仙く大角、角あり。其の類、魚、介、蟲、の三あり。魚、海に生ずるものなり。介、海に生ずるものなり。蟲、海に生ずるものなり。

應龍

朱江

應龍

翼

於

黄帝

於

翼

御

野

号



鼉龍

狀如大蛇
一二丈五色
背尾皆鱗
甲如瓦片
旁如瓦片
夜更應



鹽蛇

その長尺
餘あり
銀盤に
乃盃に
即の解
塩と解
本より
おさむ



斗牛

龍の類
甲角似
但角
灣其爪
三形乳
類
陰雨六雲
霧



肥鱧

陽山の神
女身六足
四翼
其国大
早いひ
湯の内



騰蛇

竹の類
雄凡上
多に雌
風下に
しよく
子騰蛇遊霧
飛蛇乘雲龍
霧除與蛇同
失其所乘故也



斫木蛇

蛇つ
樹上
人
跳て
又樹
て
人の
たさ
の



蚺蛇

その形大
く鹿
銅文
雷加
騰と
一名南地



青蛇

屏山
蛇あり
の高
日野
と捉
数



鮫サメ イ

飛鯉トビイ イ
似くは白
くは鮫
の
から
か
り
か
し
江
湖
多



石斑魚イシバン

石斑魚
状白鱗
て黒斑
虎の
月地と
交う此魚
水面を
人の
影を
圓く
映さ
る



石鮎魚イシノボ

溪間の中
に生れ長
くすけ
製後の下
わく
と
合
一名山ハエ
山ハチハエ



嘉加魚カカ

鯉イ
細鱗
肉く
美なり
魚丙
出川
賦あり



鱒魚マス

狀ハ
文赤尾水
中の
水豚
の
属



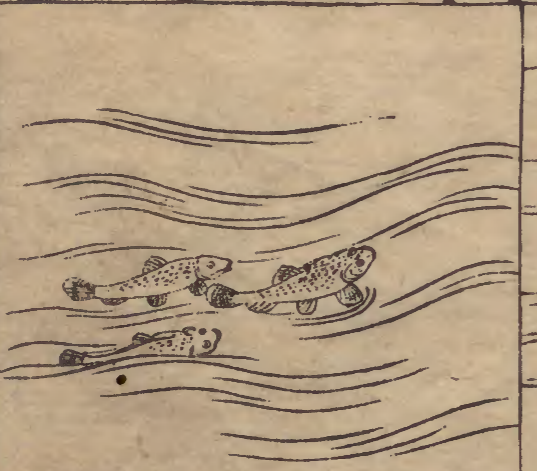
鮎魚ノボ

狀鮎魚の
細鱗
下
を
東
四月



鱒魚マス

その
湖
小魚
或
の
と
お



鱒魚マス

其
尺
白
武
入
これ



方頭魚

うしろ合
線いれ
大なりひ
さいの骨
丸い尾
に岐を
和名あま
さい

金線魚

質ハ棘鬣
魚れ
て細長く
をわらう
頬の
しり尾
ゆる合線
をて
探利時
系とよ



緋魚
状ハ紅紫
魚の
長入寸
しり尾
紅紫の
目大
と中央



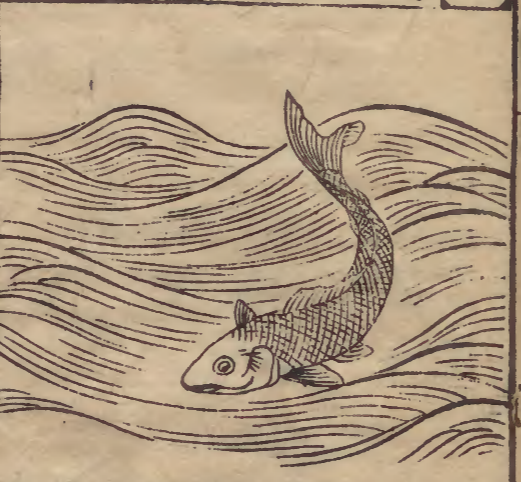
火焼鰯

鰯尾
赤骨隆
尾連て翼
蝙蝠の
正骨
と網



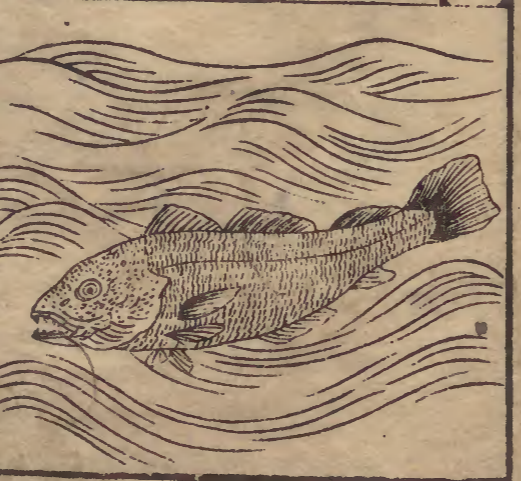
助魚

鰯魚ハ似
骨
わ
を
しりて
そのと雪
映魚と名
は味
佳なり



大口魚

その状鳥
鰯魚ハ似
色濃
して尾ハ
細線あり
は魚小海
り出川
膳
佳



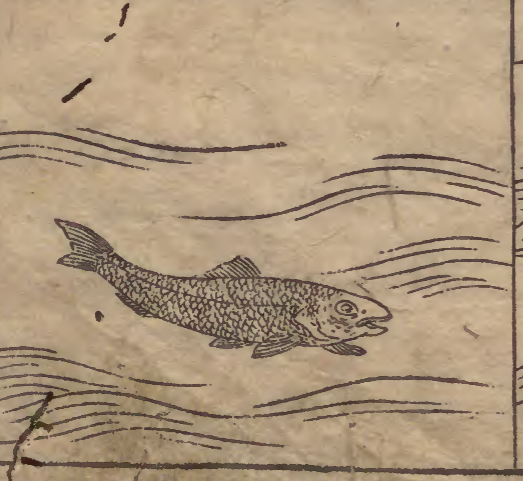
玉竹助魚

身圓
細の
微
鱗
葉
時
肥



竹魚

状ハ魚
の
骨
色竹乃
佳



鱖魚

狀鱖の如
みして頭
小形扁
をん細
鱖腹肥
とて家
白
一名連魚
と云



鱖魚

そ 狀鯉
似て云
と云家大
なり自乃
旁に骨を
とと名は
そ 眞ア
の



鱖魚

狀ハ鯉子
似て後身
は大し類を
粘り似て色
多々鱖ハ
鱖に似く
細なり大
あろ三四
十斤あり



黒頭魚

狀ハ鯉子
似て長
尺くろそ
尻正して
善の如し
鱖に似く
二三斤あり
一名北斗
魚



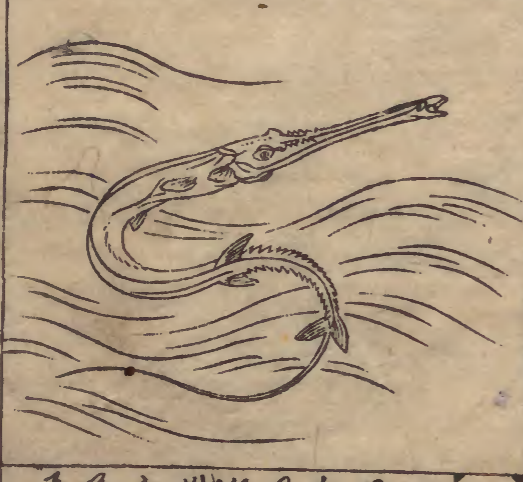
鞋底魚

狀牛脚乃
又女人
の鞋底の
細鱖紫白
色しして
半斤の
お目んを
あり
俗に云
の云云



鱖魚

狀ハ馬鞭
似て云
尾に岐を
とてわく
肉白し
或は嘴の
長きも
鱖
ス
ハ
非



華脐魚

狀ハ形科
の如く
大なり
盤の如し
吳都賦曰
琵琶魚鱗
而形似琵琶
和ニ鱖類ト
云ハ非ナリ



鱖魚

狀長く体
周く尻尾
おひし鱖
尾を斑む
又ありく
懐地の如
舌あり鱖
尾に岐を
尾に岐を



魚類図説巻之十四

丹魚 魚

形 鱗の
収り尾
色丹の水
尾の鱗
金光あり
淡魚の状
同一く
色点



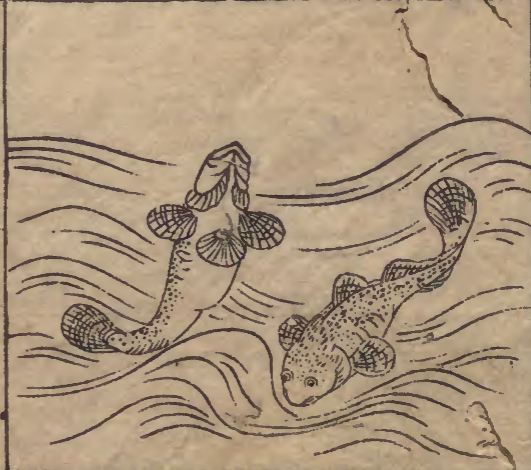
鯽魚

その状 鯽
二似て小
三と率
二も二後
一あり
故に魚
鯽魚あり



鯿魚

肉厚
鱗細
文あり
小魚
河と吹
わふ子の
巧し



彈塗

一名 蘭明
形小 鱗
似て短
大なり者ハ
長三五寸
潮退て干
百群と
して 跳



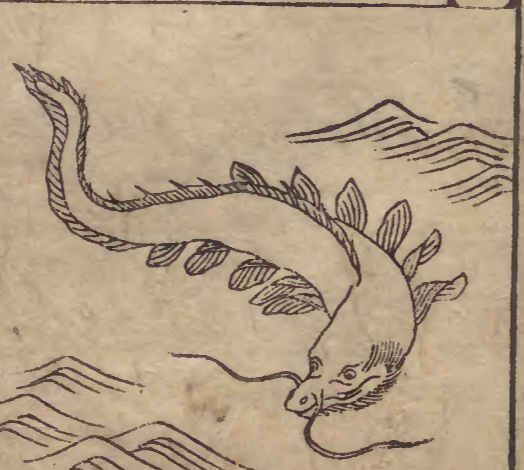
牛魚

状 鱗の
斑あり
腹の下
牛子似
とて名
鱗の属



海鱷

その
花乃
鱗あり
長多
毒あり
和云
か



鮓魚

形 鱗の
色白
口領の
下あり
鮓子似
脊肉
紫あり



龍魚

状 鱗の
鱗多
骨か
その味
佳なり
明海
物



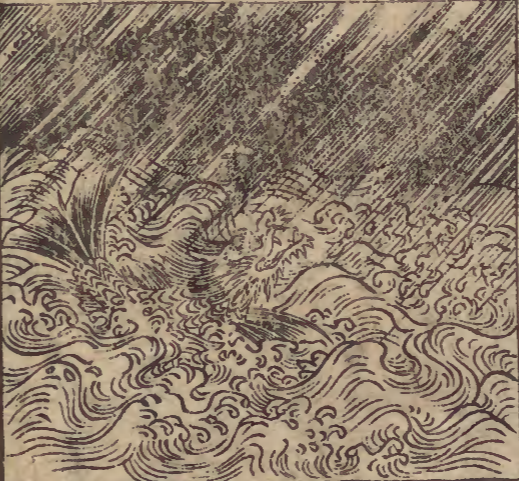
胡魁

そのまは
くはて背
上へ河を
大りくもの
長玉の
小りくもの
三つ人
繁の



鳩尾

狀ハ龍
浪と激
火災と
鳩の



神龜

夏の高玉水
と治玉上時
洛水より
其甲より
文ありて字
畫の如し
高玉と
形て九龍
の流れし



教龜

曰かり亀
の東岱嶼
員崎方壺
瀧列蓬萊
の五山あり
巨鼈首と
仰てみんと送
まのりて



躑躅

球環
交米あり
その甲を
碑の
買鼎と向
秋瑠の雌



瘡龜

右下よし
偏頭大甬
老瘡と
成病入乃
掛つたり



玄龜

扭陽山北
怪水河出
東注水中
玄龜多
其狀鳥乃
首魁の尾
音破水の



攝龜

一名為龜
腹小く
中心横拵
能自ら
圓川好く
蛇と
故と
亀と



珠蟹

葛山澤
中に多し
其狀六目
ありて六足
あり腹内
一珠あり
其味甚く
酸一食
時氣と避
へし



龜蟹

その形蟹
の如く大さ
は尺三寸あり
甲は五珠
文線あり
玳瑁の如
地の如く
玳瑁の如
く



能

くくく
くくく
足は六
尺あり
郡陽羨
縣君山
池あり
その
中に
の蟹多
し



元龜

狀蟹
似て最大
の蟹あり
臙脂あり
其味甚く
酸と堆
その卵と
鴨の卵の
如く



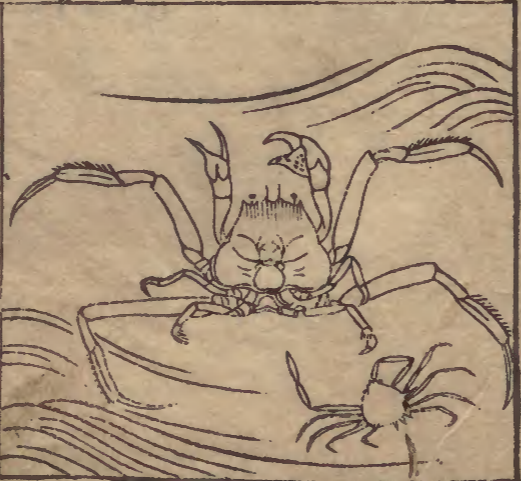
蟹歩

その形蟹
の如く大さ
は尺三寸あり
甲は五珠
文線あり
玳瑁の如
地の如く
玳瑁の如
く



鬼蟹

飛つもの蟹
甲は
人面の狀と
わらわら
○和云々々々
カニニムラ
カニキツ子



百足蟹

善苑國
百足蟹あり
その長九尺
ふして蟹
口あり其
て膠あり
鳳喙膠
草木子



螃

その形蟹
にて甲は
毛あり其
化田港
中し其
故子毒あり
招潮子
小蟹ありて
定とて其
のいろこわ
つてその
わけてま
く



海鏡

此殼五斤の肉一斤の白く一層の鮮の類を和子よ形目見のれり

海鏡

海岸の石より著て生れ肉の飛躍し似る味も又し



標雞 一名ハ紅子 子大足 一七寸 翼あり外翅 翅灰黄 しく斑點あり 肉翅ハ

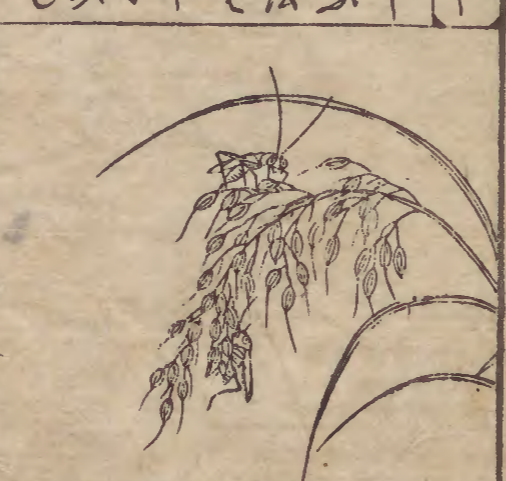
標雞

そのうち首方り 鋭く冠を 輝く 似く しく鳴き 清亮あり 一名ハ 紅一 名ハ 寧母



蟬

蟬と同一 苗ごとく 淮南子曰 法令と在れ 虫類多し といり 今 全鼓と以 てとら



蚊

飛ハ水甕 のゆくハ豆 ありて長尾 ありて節 ありて毒 人ととせし 虫なり



菊虎

その飛聲 菊の苗を 含てて 菊の宿根 といり 小虫



蟻

飛聲 長三寸 其色 黒し 背と 甲あり といり 角あり といり 氣と 人と 毒あり



水虎 狀三四威の
 小虎の 甲の 鱗の
 砂と 曝の 腹の
 腹の 掌の 爪の
 勝を 出の 人
 人 示の 小
 児 弄の 使
 笑ひ

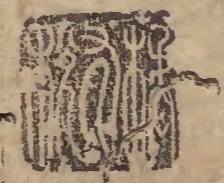


謝豹 出蟬
 地中より
 出て 蟬
 蟬と 抱て 死
 し 人の 魂
 蟬と 抱りて
 故に 蟬の 死
 と 抱ひ 蟬
 と 抱ひ 蟬
 の 唐の 成文
 の 説



皇三祖之法を傳ふ不能以通神矣。始乃才
 今所筆抹未免仲由之木鈕。昭君之帷帽
 之痛 親者 宜 怒 焉

畫者 橘有稅



豫顯目錄

寶文堂藏版

畫本故事談	九冊	和漢の故事 卷一 田子の海濱 卷二 舟の山 卷三 舟の山 卷四 舟の山 卷五 舟の山 卷六 舟の山 卷七 舟の山 卷八 舟の山 卷九 舟の山
唐土訓蒙圖彙	十五冊	唐土訓蒙圖彙 卷一 卷二 卷三 卷四 卷五 卷六 卷七 卷八 卷九 卷十 卷十一 卷十二 卷十三 卷十四 卷十五
畫典通考	十冊	畫典通考 卷一 卷二 卷三 卷四 卷五 卷六 卷七 卷八 卷九 卷十
女節用嬰粟袋	一冊	女節用嬰粟袋 卷一
女源氏教訓鑑	一冊	女源氏教訓鑑 卷一
女法書	紙深一冊	女法書 卷一
藏筭百首	六冊	藏筭百首 卷一 卷二 卷三 卷四 卷五 卷六
義經記大全	十冊	義經記大全 卷一 卷二 卷三 卷四 卷五 卷六 卷七 卷八 卷九 卷十

古文後集	一冊	三體詩	一冊	四聲字林集韻大成	一冊	和漢三才圖會	全冊	四聲字林集韻大成	一冊	詩法掌韻	五冊	袖玉字林集韻	一冊	群玉伊呂波韻	一冊	醫方筆記	五冊	醫方歌括	一冊	增補家傳類藥集	七冊	新製衣齋記	五冊	百體千字文	二冊	分類故事要語	十冊	諸禮一統集	七冊	森郎用筆海徒來	一冊	大徳節用萬葉寶録	一冊
------	----	-----	----	----------	----	--------	----	----------	----	------	----	--------	----	--------	----	------	----	------	----	---------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	---------	----	----------	----

字の數りしりあふしりく、常り
 入用ノ事とととと入新極め
 書れし用要のあふしりく、
 のしりしりあふしりく、
 色退取海之根階礼飲食珍極
 益砂流紀積方小笠原交徳所作
 實賢ノ古語ニ註ヲ加又教訓ノ故事
 數多入
 平文ニ註ヲ入古文字用字八分字
 百體ニ書分
 樂種真似存州ノ辨疑
 製法ノ仕用ヲ書入
 凡藥散藥練藥家々ノ家傳
 秘法妙藥ヲ書入
 明ノ先醒齋一代ノ醫案素治本也
 新渡ヲ板行
 汪昂詔菴作臍ヲ分ケ病門ヲ
 歌ニ述ハ州ノ懷中療治本也

子と致ノ先極め
 畫引韻字平反附
 懷中本
 詩ノ法式練白ノ法式懷紙ノ法
 熟字子ノ物異々右ヲ入
 文字數ヲ増シ四聲ノヲ付和訓之
 反切入韻字平反ヲ附
 天文字辰地理山川禽獸人物事
 万物皆備ヲ韻ニ請教ヲ引註ヲ付
 畫引平反ヲ附
 懷中本
 道春点片假名付キ文字ヲ改
 懷中本
 道春点片假名付キ文字ヲ改メ
 韻字平反ヲ附
 懷中本
 片假名付キ文字清濁ヲ改
 懷中本

諸葛孔明異傳 七冊

孔明一代ノ軍術兵法ノ注解
八陣ノ圖入

中國太平記 十冊赤松家
代軍日記

立華百種圖 二冊
池坊園

立華五十種圖 二冊
細更

正氣歌 石摺一冊
平住等筆

狂歌五拾一首一冊

易大全 廿六冊

字海便覽 經書字訓
七冊

世說故事苑一冊

錦繡段 片十付
一冊

本朝氏家系林 六冊

本朝氏家系圖五冊

幼科新義 一冊

程陽峯大字 石摺
一冊

子昂不字文 大字
一冊

南方州木狀 二冊

女經 音雙書
十一冊

續書錄 及点
七冊

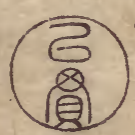
首書老子經 二冊

浪華書林

大坂心齋橋筋安堂寺町南江入西側
秋田屋

大野木市兵衛

多識於鳥獸草木之名。此博知之事。學者之所宜潛心也。此書就天地人物圖之說之。裁為小冊。孰不珍焉。本邦向有訓蒙圖彙。今所収載。皆拾其所遺。觀者幸毋以依樣畫葫蘆。貽嘲專庵。頃有此選。予與校讎。因附一辭于卷尾云。享保己亥。攝江穗積。以貫伊助甫跋。



享保己亥歲
孟陽吉旦
書肆

大坂安堂寺町心齋橋
大野木市兵衛
江戶日本橋南三丁目
須原茂兵衛

